

①地方交付税、国庫支出金、地方譲与税は国から地方自治体に譲与される財源です。  
②当初予算は概ね 300 億円弱で推移していますが、交付税等は減少の一途です。

### 31年度当初予算のポイント

一般会計当初予算の規模は、294 億 5 千万円（昨年比△1.5%）、ほぼ昨年並みとなりました。ただ、歳入の多くを占める地方交付税（昨年比△3 億 19 百万円、△2.5%）、国庫支出金（昨年比△2 億 85 百万円、△11.8%）の減額幅が大きく、不足分を基金の取り崩しや市債（市の借金）で補う予算編成となりました。

三月定例会が二月二十七日から開催されました。上程議案は、三十年度補正予算や三十一年度当初予算、条例の制定や改正などで、三月二十日、本会議最終日に議案の決議を行いました。職員給与の特例（カット）、消費税増税関連の条例改正、環境基本条例の制定、国保等特別会計、議員定数条例（四段目に記事）は賛成多数、その他は全会一致で原案通り可決されました。

## 三月定例会

# 議会瑞風

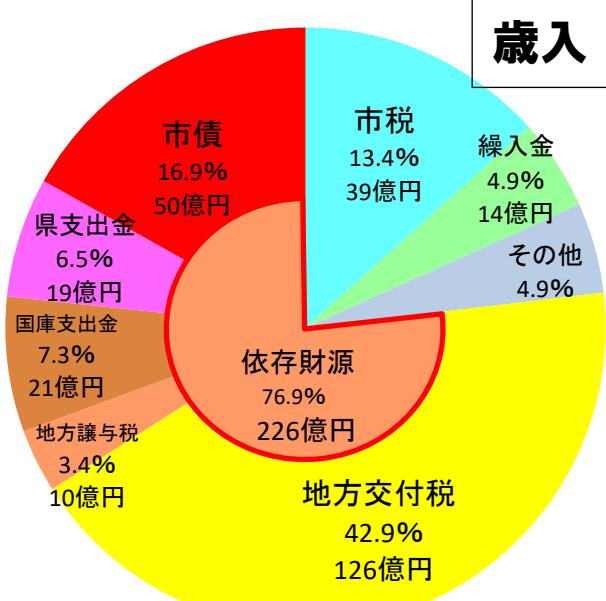
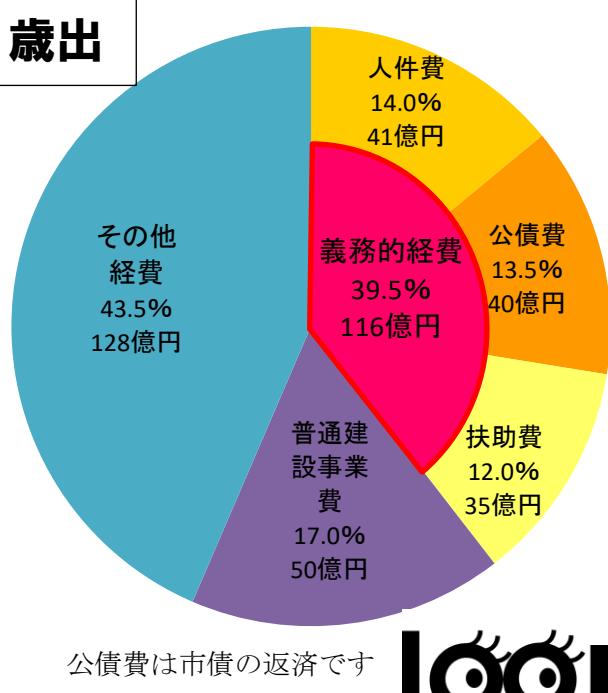
発行人 中林たかし

中林たかし事務所  
雲南市加茂町神原 733-4  
電兼 FAX 49-6373



○清嵐荘整備事業	○学校給食センター	○道路整備事業	○企業団地関連道路
13 億 5 百万円	9 億 65 百万円	2 億 76 百万円	2 億 14 百万円

三十一年度の主な投資的事業としては次のようなものがあります（継続事業）。

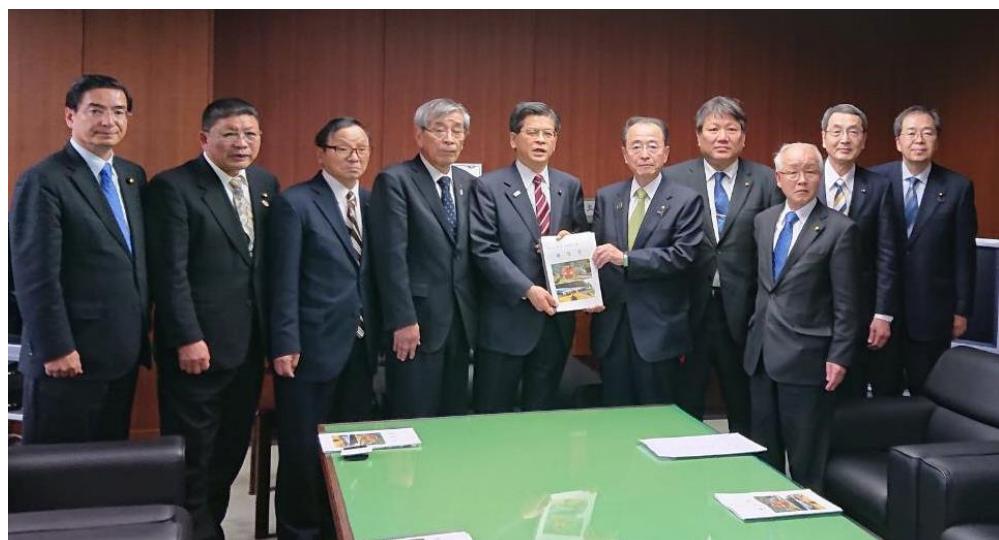


地方交付税、国庫支出金等が 157 億 7 千万円と国依存の財源が歳入の半分以上を占めます

LOOK  
ここに注目！

### コトリエットに愛称決定

工事が進められている中心市街地活性化事業の商業施設の名称が「コトリエット」と決定しました。七月十四日（日）にグランドオープン予定で「炉端かば」など 6 店舗の飲食店が出店予定です。



左から山本国議員、深田議員、岩田議長（奥出雲）、勝田町長（奥出雲）、石井大臣、速水市長、森脇議長（松江）、山崎議長、中林、斎藤国議員（公明党幹事長）  
(1/29、国交省大臣室にて)

### 石井国交相に要望書提出 1/29

本次線活性化促進議員連盟は、一月二十九日、石井国交相と面会、本次線存続に向け「要望書」を提出しました（写真）。

その他、①企業チャレンジ推進事業（地方創生に関心のある企業の地域課題解決への支援）に 8 百万円、②東京 23 区からの移住支援事業（裏面に関連質問）に 3 百万円、③民間賃貸住宅家賃助成事業補助金（雲南市内に通勤する市外在住者が雲南市に転居する場合の家賃補助）に 2 百万円、等の新規事業があります。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

雲南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

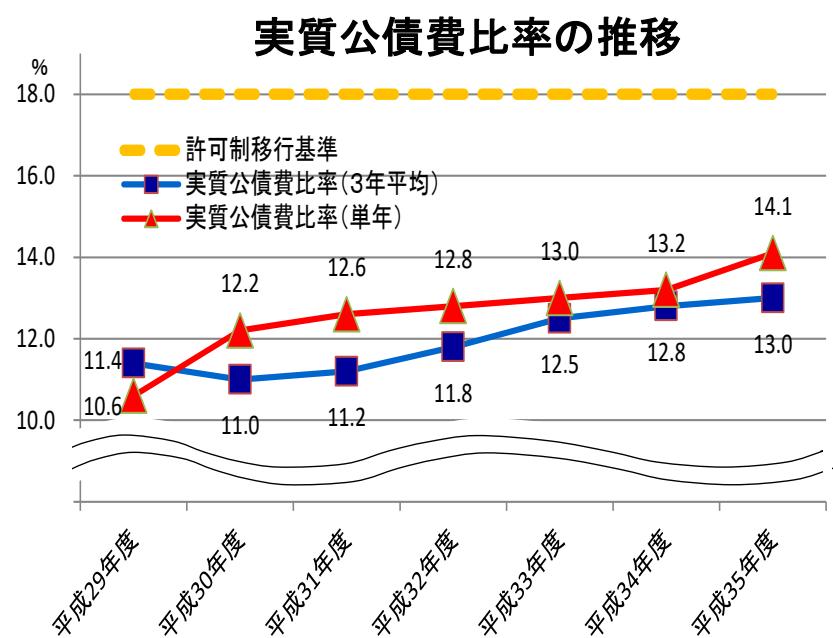
云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が反映されない、新人にはハードルが高い、議員がいるくなる地区が出る、二元代表制の一翼を担う議会の力が弱くなる等の反対意見がありました。一方、同規模（人口や面積）自治体に比し 22 名は多い、合併後、時間が経過し旧町村という考え方より雲南市として一体となるべきとの意見がありましたが。採決の結果、賛成 13 名、反対 8 名の賛成多数で可決されました。

云南市議会議員の定数を現行の 22 人から 3 人減らし、19 人とする「雲南市議会議員の定数を定める条例」の改定案が二十日の最終日に議員発議で提出されました。定数減は議会に多様な意見が



中期財政計画によれば普通建設事業費が四～五年後には10億円台に激減する見込。起債頼りで普通建設事業を進めれば実質公債費比率が増加する。どう管理するか。

**答（総務部長）**

平成二十九年度から三十二年度まで普通建設事業が集中した。収支不足を起債で賄つたため、市債残高が平成三十二年度381億円とピークを迎える。財政指標の実質公債費比率は平成三十五年度に13.0%と想定している。実質公債費比率が18%を超えると協議制から許可制になる。当面、15%を超えないよう健全化に努める。

（続き）総合診療専門医制度（全国で200人）ができ、県内では県立中央病院と当院だけに着任予定で大変な快挙だ。包括ケアの推進に大きな力となる。総合医と専門医のバランスの取れた病院になると思う。34年間、医師として充実した人生を送れたことに感謝する（一同拍手）。

## 財政規律

**問**

中期財政計画によれば普通建設事業費が四～五年後には10億円台に激減する見込。起債頼りで普通建設事業を進めれば実質公債費比率が増加する。どう管理するか。

**答（産業観光部長）**

政府は消費税増税に併せ、キヤッショレス決済にポイントの付与を予定している。キヤッショレス決済対策をどう進めるか。

**答（産業観光部長）**

商工会や観光協会、市内金融機関とともに事業者を対象としたキヤッショレス推進セミナーの開催を予定している。

## 消費税増税関連

**問**

政府は消費税増税に併せ、キヤッショレス決済にポイントの付与を予定している。

**答（産業観光部長）**

キヤッショレス決済対策をどう進めるか。

**答（産業観光部長）**

商工会や観光協会、市内金融機関とともに事業者を対象としたキヤッショレス推進セミナーの開催を予定している。

曜はできるだけ家庭保育をして貰うようお願い文を発出したところだ。

新たな保育所建設の考えはないか。

**問**

本年七月、ニチイ学館が企業主導型保育園（ニチイキッズ島根うんなん、定員18名）を木次町山方地内に開設予定である。

**答（子ども政策局長）**

GWは10連休になる予定だ。保育や学校の教育現場で混乱は生じないか。

**答（子ども政策局長）**

県や他自治体と情報交換、施設長会議などで検討している。また、ファミリーサポートセンターにも相談いただきたい。

**答（教育長）**

小中学生は昨年のGWより一日多くなるが、特段の措置を講じなくとも支障はない。

**答（教育長）**

GWは10連休になる予定だ。保育や学校の教育現場で混乱は生じないか。

**答（教育長）**

県や他自治体と情報交換、施設長会議などで検討している。また、ファミリーサポートセンターにも相談いただきたい。

**答（教育長）**